

# 第三次由布市総合計画

## 基本構想・基本計画

令和8年度～令和17年度  
(2026-2035)



由布市



# 由布市民憲章

— みんなの誓い —

私たち由布市民は

みんなの幸せのために、

四つの誓いを果たすことに

努めましょう。

## 「感謝と使命」

一. 豊かな自然を命の源として感謝し

次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

## 「融和と郷土愛」

一. 郷土の歴史・文化・慣習を大切にし

緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

## 「平等と仁愛」

一. 一人ひとりの人権を尊重し子どもやお年寄りを

大切にするあたたかいまちをつくります

## 「協働と希望」

一. 地域づくり・まちづくりにみんなで参加し

健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります





## 発刊のごあいさつ

平成17年（2005年）10月1日に挾間町・庄内町・湯布院町の3町が合併し由布市が誕生してから、20年目の節目を迎えました。この間、平成28年（2016年）4月の熊本地震や令和2年（2020年）7月豪雨、さらには新型コロナウイルス感染症のまん延といったいくつもの困難な状況に直面してきました。一方で、デジタル技術の発展やグローバル化の進展等、社会情勢の大きな変化や市民ニーズの多様化が進み、本市においても少子高齢化による人口減少の進行、度重なる豪雨災害、社会資本の老朽化等さまざまな課題への対応が求められています。

このような社会の変化を踏まえつつ、第三次由布市総合計画の策定にあたっては、人口減少社会においても笑顔や安心があふれ、一人ひとりが尊重されるまちを目指し、「人とつながり、未来を創る 住みよさ日本一のまち・由布市」をまちづくりの目標に設定し、今後10年間の指標を定めた「基本構想・基本計画」および向こう5年間で特に重点的に取り組むべき施策としての「総合戦略」を策定いたしました。

本計画では、由布市の資源・強みを効果的に活かしたまちづくりを推進するものとしており、まちづくりのテーマを6つに分けて施策を体系化し、それぞれの施策ごとに目標を定めています。また、総合戦略においては、6つのまちづくりのテーマにつながる13のプロジェクトを掲げ、プロジェクトごとに設定した指標を通じて進捗管理を行い、目標達成に向けて組織横断的に取り組むこととしております。

まちづくりの目標である「人とつながり、未来を創る 住みよさ日本一のまち・由布市」を実現するためには、行政だけでなく、地域や市民の皆さまの力が必要ですので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に本計画の策定にあたりまして、総合計画審議会委員の皆さまをはじめ、市民意識調査、タウンミーティング、市民説明会、パブリックコメント等を通じて貴重なご意見やご提言を頂きました皆さまに心より厚く御礼申し上げ、発刊のごあいさつといたします。

令和8年（2026年）3月

由布市長

相馬 尊重



## 第三次由布市総合計画策定にあたって

総合計画とは、地方自治体が持つ、最も基本的で、最上位に位置づけられる計画であり、行政運営の目標や基本理念、施策体系等を定めるものです。

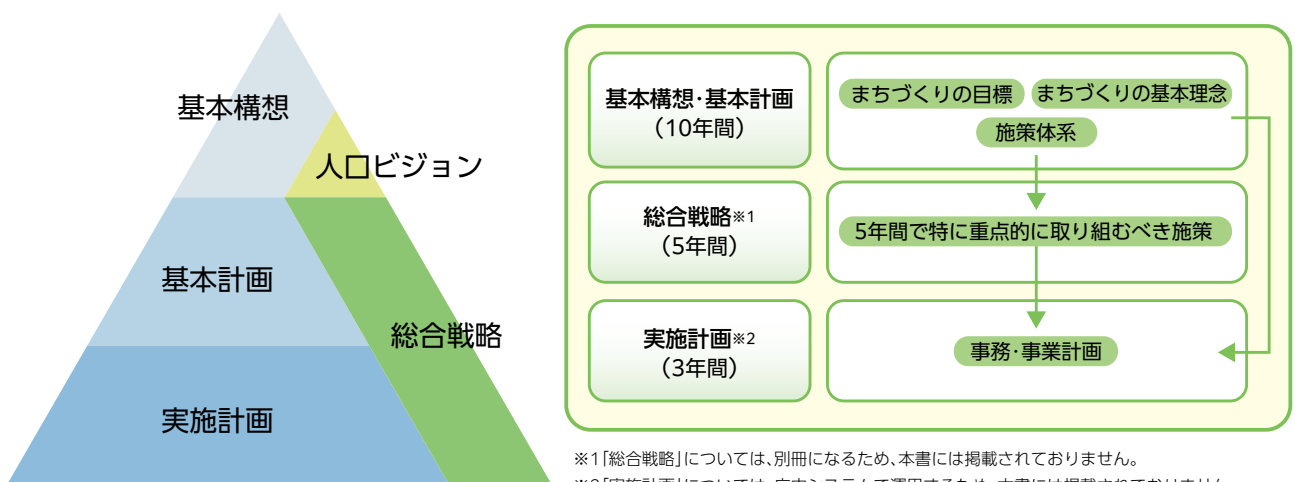
由布市は、平成19年(2007年)に「第一次由布市総合計画」、平成28年(2016年)に「第二次由布市総合計画」を策定し、「住みよさ日本一のまち」を目指してさまざまな施策に取り組んできました。「第二次由布市総合計画」策定から10年が経過し、由布市を取り巻く経済・社会情勢が変化してきたことから、これからの10年のまちづくりに向けて令和8年(2026年)3月に「第三次由布市総合計画」を策定しました。

第三次由布市総合計画の策定に際しては、我が国全体が迎えている人口減少、少子高齢化、デジタル技術の発展という変化の中で、由布市独自の課題に取り組むとともに、由布市の資源・強みを活かし、これからの10年に新しい価値を生み出していくための出発点となる計画とすることを目指しました。

**第三次由布市総合計画**は、由布市が今後10年間にわたって進めるまちづくりの目標や基本理念、施策体系等を示した「**基本構想・基本計画**」(本書)と、その中で由布市が今後5年間で特に重点的に取り組むプロジェクトについて、その目標や推進体制、KPI(成果指標)等を示した「**総合戦略**」(別冊)、今後3年間の由布市の事務・事業計画を示した「**実施計画(庁内システムで運用)**」の三部構成となっています。

策定にあたっては、市民意識調査や、挾間・庄内・湯布院地域でのタウンミーティング(市民ワークショップ)、市民説明会、パブリックコメントを実施し、市民や学識経験者による審議会や市職員による庁内ワーキンググループを設置する等、市民の皆さまとともに、庁内一丸となって計画内容について検討を進めてきました。この第三次由布市総合計画は、今後の由布市のまちづくりの指針を示すものです。この計画に基づき、市民の皆さまのみならず地域外の協力者の皆さまとともに由布市のまちづくりに取り組んでいきます。

### 第三次由布市総合計画



### 第三次由布市総合計画 基本構想・基本計画の計画期間

令和8年度(2026年度)～令和17年度(2035年度)の10年間

## まちづくりに活かしたい資源・強み

基本構想で定める「まちづくりの目標」「施策体系」や総合戦略で定める「プロジェクト」は、以下のような

1

### 豊かな自然環境、水資源、温泉

由布市は、北部に由布岳、城ヶ岳、南部に黒岳、花牟礼岳、時山等が連なり、庄内、湯布院の一部は、阿蘇くじゅう国立公園の一部となっています。

特色ある自然環境に囲まれ、大分川流域の豊かな水資源、豊富な湧水が各地域の農林畜産業を支えてきました。

さらに、豊富に湧き出る温泉を活かして、湯平温泉や由布院温泉が全国屈指の湯治場、温泉地として栄えています。



2

### 農林畜産業と伝統文化の継承

豊かな水資源や標高差等の地域ごとの気候特性を活かして、水稲、野菜、畜産、果樹、花き等の園芸作物といった特色のある多種多様な農林畜産業が営まれてきました。

自然と密接に関わってきた暮らしの中から、庄内神楽等の伝統芸能が根付き、次世代へ受け継がれています。

また、春の風物詩である野焼きの取組が、開放感のある景観を保持しています。



3

### 道路・鉄道網による広域連携

国道210号をはじめとする道路網が市内各所を結び、大分市等の周辺自治体へつながっているほか、JR久大本線では市内8カ所の駅を有し、特急や観光列車が福岡市や大分市経由で運行され、生活および観光の両面を支えています。

大分自動車道では湯布院ICや由布岳スマートICが設置されているほか、東九州自動車道の太田ICにも近接しています。大分自動車道を利用することで、福岡市や大分市をはじめ、福岡空港や大分空港とも高速バスで結ばれています。

このように、由布市は広域的な道路・鉄道網を有しており、広域連携に適した交通環境が整備されています。



由布市の資源・強みを効果的に活かしたまちづくりを推進するものとします。

4



## 充実した医療・福祉施設

大分は日本で初めて西洋医学を取り入れた地域でもあり、医療と深い縁があります。由布市には、古くから湯治場として栄えた湯平、休養・保養の場所として息づいてきた由布院があります。また、旧日野病院等、全国的にも貴重な歴史的建造物が残っており、医療に関する歴史がある地域です。

現在では、大分県の医療の中核を担う大分大学医学部附属病院の立地も含め、市民一人あたりの医療機関数が多く、福祉と地域医療が充実しています。そのため、医療・福祉関係の就業人口や生産額は、由布市の上位を占めており、主要な産業の一つとなっています。



5



## 我が国屈指の観光地

大正～昭和初期頃には湯平温泉が全国屈指の湯治場として栄え、昭和50年(1975年)頃からは由布院温泉が観光地として発展してきました。令和元年(2019年)からは「湯布院温泉郷」として由布市全域の温泉地が滞在型・循環型の国民保養温泉地として指定されています。

観光業は、地域の魅力を地域外へ発信し、地域ブランド力を高めるとともに、人々との交流を生み出します。さらに地域外需要を取り込み、雇用を創出する産業としての大きな役割を担っています。



6



## 質の高い住環境

由布市は、豊かな自然環境に恵まれるとともに、商業施設や大分大学医学部附属病院等の医療機関も充実しています。さらには大分市や別府市等とも隣接し、大分都市圏の中でも、自然に囲まれた落ち着いた住環境と利便性の高い生活環境があります。さらに、大分都市圏を含むエリアにおいて雇用の選択肢が豊富で、多様な働き方ができる地域です。



## まちづくりの課題 —人口減少と少子高齢化の進展—

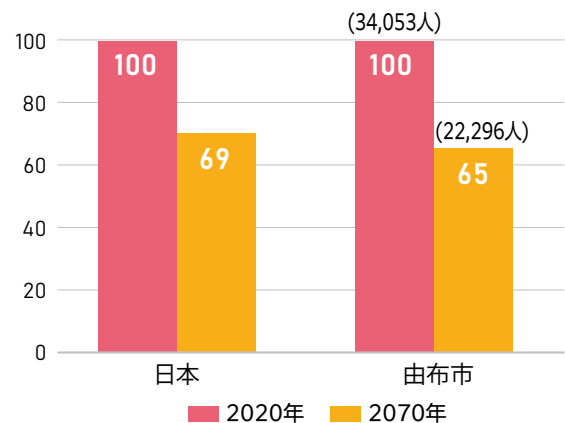
人口予測は、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)が公表した「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」を基に、住民基本台帳のデータを用いて独自推計を行ったものです。

### 1 全国平均を上回る人口減少予測

由布市には、まちづくりに活かしたい資源や強みが豊富にある一方で、今後の人口動向に関しては減少傾向で推移していくことが予測されています。

長期的な人口推移では、令和2年(2020年)の人口を100とした時に、令和52年(2070年)には、日本の総人口は約69、由布市の人口は約65(22,296人)になると予測されており、由布市は全国平均を上回る減少が見込まれています。

令和2年(2020年)の人口を100とした時の令和52年(2070年)の人口

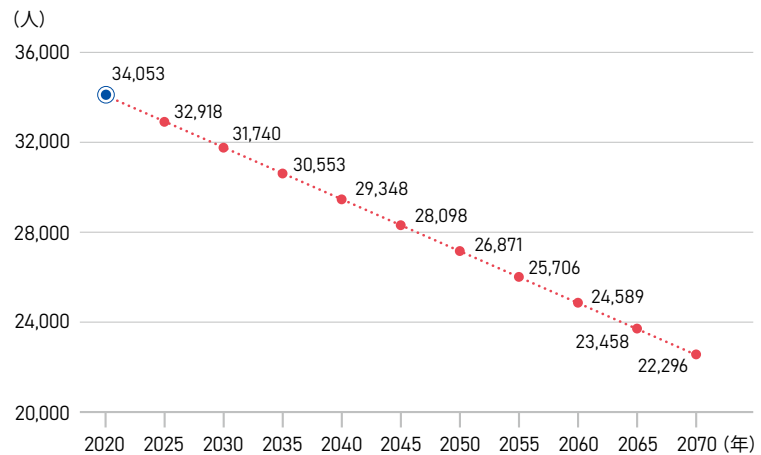


### 2 人口減少が加速するこれからの10年

本計画の終了年である10年後、令和17年(2035年)の人口は、30,553人と予測されており、令和2年(2020年)からの減少率は10.3%と見込まれています。今後、由布市における人口減少はさらに進行することが予想されます。

持続可能なまちづくりを行うにあたっては、人口減少社会に対応した適切な土地利用が重要です。由布市立地適正化計画の「**主要産業を活かした“地域の個性”と“地域間のつながり”を育み** **住み良さが持続するまち ゆふい**」の方針に基づき、施策を実施していきます。

由布市における令和52年(2070年)までの人口推計



※令和2年(2020年)は実数値(住民基本台帳)、令和7年(2025年)~令和52年(2070年)は推計値(社人研による推計値を基に住民基本台帳のデータを用いて独自推計を行ったもの)

### 3 人口減少の主な要因

我が国の地方自治体における人口減少の主な要因は「地域外への人口流出(転出が多く、転入が少ない)」「出生率の低下」「既婚率の低下」等が挙げられます。こうした要因に対し効果的に対応するために、国や県とも連携しつつ、市内各地域の実情にあわせてきめ細かいまちづくりを進めていくことが重要です。

## まちづくりの目標

由布市の持つ資源や強みを活かしながら社会の変化に対応し、新しい変化を生み出していくために、これまでのまちづくりを継承しながらも、人とのつながりを大切にしたい、新たな「まちづくりの目標」を以下のように設定します。

# 人とつながり、未来を創る 住みよさ日本一のまち・由布市

本総合計画に掲げる施策の取組等により、

令和17年(2035年)の将来計画人口**31,000人**  
を目指します。

## まちづくりの基本理念

「まちづくりの目標」の実現に向けた取組姿勢である基本理念を以下のように設定します。

### このまちの未来は、みんなで作る

まちづくりは、行政だけでも市民だけでもできるものではなく、みんなが力を合わせることで進んでいきます。この理念には、由布市の豊かな自然や文化を守り育みながら、みんなが活躍し、笑顔や安心が広がるまちを目指し、みんなが未来を切り拓いていく強い意志と希望を込めています。

## まちづくりの目標実現に向けた6つのテーマ

基本構想では、「まちづくりの目標」の実現に向けた取組を、6つのテーマで設定しました。6つのテーマは以下の通りです。次ページ以降にテーマごとの施策目標と施策内容を記載します。

まちづくりのテーマ

1

みんなで支え合う、  
安心・安全なまちづくり

まちづくりのテーマ

2

誰もが健やかに  
暮らせるまちづくり

まちづくりのテーマ

3

豊かな環境の中で  
快適な暮らしができる  
まちづくり

まちづくりのテーマ

4

人や文化を育む  
まちづくり

まちづくりのテーマ

5

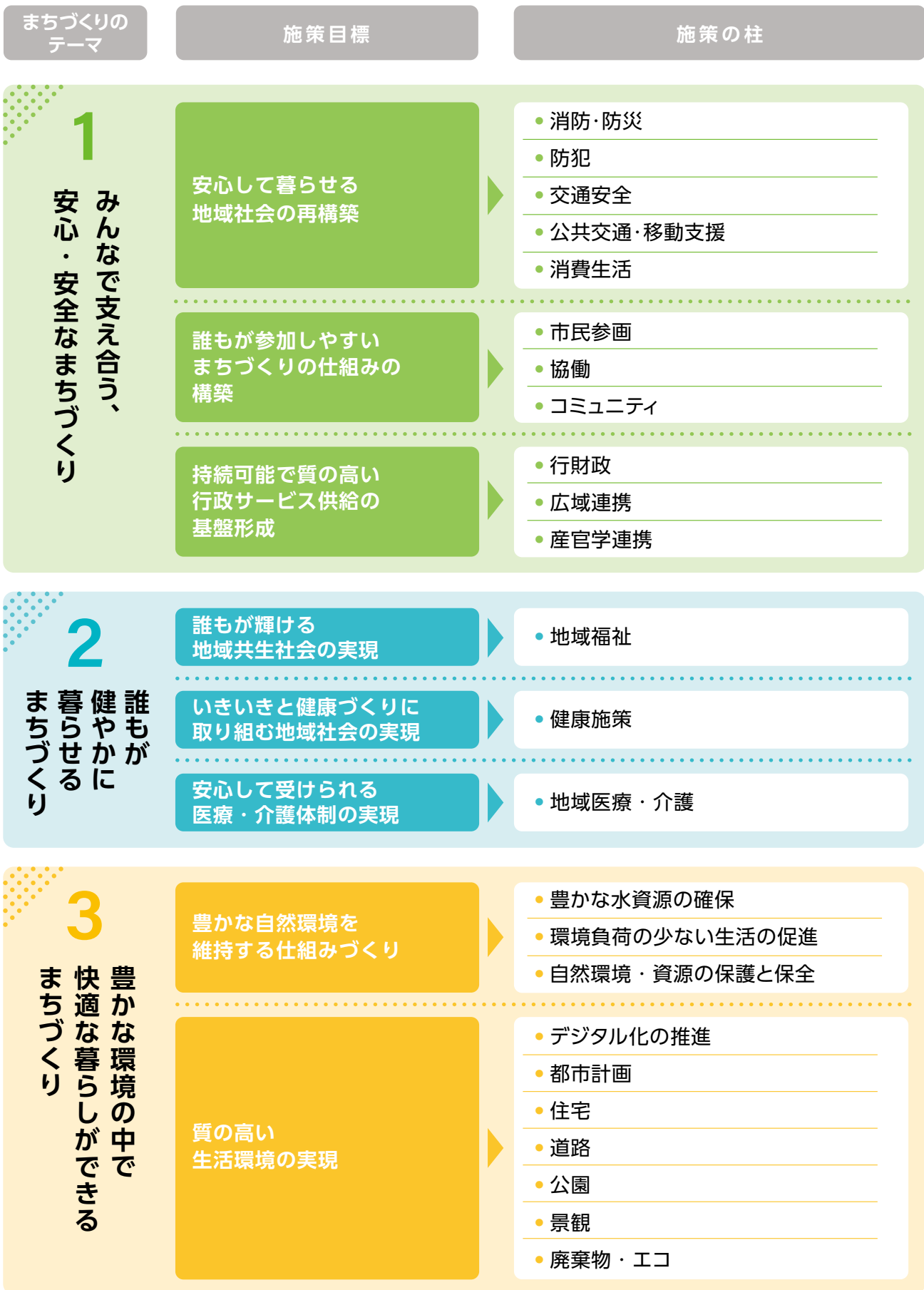
生業をつなぎ、  
地域が潤うまちづくり

まちづくりのテーマ

6

由布の魅力発信  
ファンとつながる  
まちづくり

## 施策体系図



まちづくりの テーマ	施策目標	施策の柱
<p><b>4</b></p> <p>人や文化を育むまちづくり</p>	<p>「子育て世代に選ばれるまち」の推進</p> <p>生きる力を育む 学校教育の推進</p> <p>生きがいに満ちた 生涯学習社会の形成</p> <p>誇りを持てる 地域文化の形成</p> <p>人権や希望を尊重する 社会の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育て支援</li> <li>• 学校教育</li> <li>• 生涯学習</li> <li>• スポーツ振興</li> <li>• 地域文化・芸術</li> <li>• 人権教育・啓発</li> <li>• 男女共同参画</li> <li>• 困難を抱える人への支援</li> </ul>
<p><b>5</b></p> <p>地域が潤う まちづくり 生業をつなぎ、</p>	<p>地域に根差した 持続可能な農林畜産業</p> <p>地域の新しい価値を 生み出す商工・観光業</p> <p>生業をつなぎ 地域の魅力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次世代につなぐ担い手と産地の育成</li> <li>• 農村里山の維持</li> <li>• 市内製品の消費拡大とブランド力の向上</li> <li>• 商工・観光業の育成・支援</li> <li>• 異業種交流の促進</li> </ul>
<p><b>6</b></p> <p>由布の魅力発信 ファンとつながる まちづくり</p>	<p>戦略的なプロモーションと 情報発信の促進</p> <p>交流と移住を促進する 魅力と仕組みの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光プロモーションの推進</li> <li>• ふるさと納税</li> <li>• 交流促進</li> <li>• 移住促進</li> </ul>

# みんなで支え合う、 安心・安全なまちづくり

## 《 基本構想 》

市民一人ひとりが主役としてまちづくりに参画し、行政・企業・団体と連携しながら多様な活動を展開することで、地域の活力を高めます。さらに、こどもから高齢者、移住者等、世代や立場を超えた交流が生まれる地域コミュニティの形成に取り組んでいきます。

また、デジタル技術の活用と適正な財政基盤の確立により、行政の効率化を図るとともに、市民のまちづくりへの参画と協働の仕組みをつくります。安心・安全な暮らしと質の高い行政サービスを提供し、みんなで支え合いながら、誰もが誇りとぬくもりを持って暮らせる開かれた由布市を目指します。

## 《 現状と課題 》

由布市は人口減少や少子高齢化の進行、公共施設の老朽化、財源確保等のさまざまな課題を抱えています。そのような中、増え続ける行政需要や多様な市民ニーズへのきめ細かな対応が難しくなりつつあります。人口減少、少子高齢化、若者の流出による人口構造の変化や地域社会の共同体機能の低下は、税収や行政需要に大きな影響を及ぼすことが予想されており、将来人口を見据えた行財政運営が求められています。

近年、豪雨災害や土砂災害等が頻発しており、また南海トラフ巨大地震のように今後発生が予測されている大規模災害もあります。特殊詐欺等の犯罪も大分県内で発生しており、安心・安全な暮らしが損なわれるおそれが高まっています。加えて、高齢者の運転免許返納意識の高まりや、市民意識調査結果等からも、買物困難者対策をはじめとする移動支援の重要性が認識されています。しかし、利用者ニーズの多様化が進み、従来の交通体系では住み慣れた地域で住み続けることが難しい状況も生じています。そのため、利便性が高く効率的な交通体系の再構築を行うとともに、福祉や商工等の分野横断的な取組が求められています。

このような諸課題を解決するには、公助だけでは不十分であり、地域や人と人のつながりを深め、世代や立場を超えた交流や協働を促進し、市民と行政が連携して取り組む持続可能なまちづくりと行政運営が必要です。

### ■ 施策体系

#### みんなで支え合う、安心・安全なまちづくり

##### [ 施策目標 ]

- 施策目標 1 安心して暮らせる地域社会の再構築
- 施策目標 2 誰もが参加しやすいまちづくりの仕組みの構築
- 施策目標 3 持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成



## 施策目標と10年後に目指す由布市の将来像

### 施策目標 1 安心して暮らせる地域社会の再構築

「消防・防災」「防犯」「交通安全」「公共交通・移動支援」「消費生活」等日常生活のあらゆる側面で、誰一人取り残されることがないように、人々が安心して生活できる環境を目指します。

さまざまな立場の人々が地域の中で支え合い、守り合う意識を育むことで、防災・



防犯への対応力や、交通安全・消費生活に関する意識、公共交通の利用促進や移動支援への関心を地域全体で高め、市民の暮らしの質の向上を図ります。そして、市民と行政、関係機関が連携し、時代の変化に柔軟に対応できる体制を整えることで、安心・安全で、誰もが心豊かに暮らせるまちを目指します。



### 施策目標 2 誰もが参加しやすいまちづくりの仕組みの構築

市民一人ひとりがまちづくりの主役として、行政とともに地域の未来を築いていくために、行政情報の積極的な発信と市民と行政の双方向の対話を推進します。そして、市民と行政が連携した多様な活動を持続可能な形で展開し、地域全体の活力向上を目指します。

こどもの頃から地域活動への参加を促すことで地域への愛着を育み、若い世代や



移住者、外国人材等、あらゆる市民がまちづくりに参加できる環境を整えます。さらに、世代や立場を超えた交流や支え合う関係が育まれる地域コミュニティを形成し、市民主体のまちづくりのモデルを確立することで、誰もが安心して暮らし、誇りを持ち、快適に生活できる社会の実現を目指します。



### 施策目標 3 持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成

適正な財政運営を基盤に、デジタル技術による行政の効率化や人材育成を推進し、市民の多様なニーズに応える質の高い行政サービスを提供できる体制を整えます。あわせて、デジタルインフラ<sup>1</sup>の整備を進め、市民がデジタル技術を積極的に活用できる環境を目指します。



広域連携により、地域の魅力や課題に応じた柔軟な施策を展開するとともに、地域への理解や愛着を育むことで、次世代の定住・活躍につなげます。市民、企業、大学、自治体等多様な主体が互いに連携し、学び合い、支え合うことで、地域が調和しながら発展する、開かれたまちを目指します。



#### 下位の個別計画等

由布市地域防災計画、由布市国民保護計画、由布市地域公共交通計画、由布市地域公共交通再編実施計画、由布市行財政改革推進計画、由布市公共施設等総合管理計画、由布市過疎地域持続的発展計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市業務継続計画、由布市受援計画、国土強靱化地域計画、由布市都市計画マスタープラン、由布市立地適正化計画



用語解説

1 デジタルインフラ：光ファイバやデータセンター等、デジタル化の基盤となる設備や技術の総称。

## ■ 由布市の将来像を実現するために取り組むこと

# 《 基本計画 》

### 施策目標 1

## 安心して暮らせる地域社会の再構築

### …… | 消防・防災

- 消防、救急体制の充実を図り、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
- 頻発する災害に対して、避難所マップや防災ハザードマップの充実、防災・災害情報発信の強化、避難行動要支援者や観光客、外国人の避難対応等の対策を推進します。
- 国や県と連携し、インフラ整備を含めた災害に強いまちづくりを推進します。
- 災害対応の迅速化・効率化の実現のため、ICT(情報通信技術)やドローン等の先端技術を活用したデジタル化の推進を図ります。
- 「公助」「自助」「共助」の役割を最大限発揮するため、さまざまな立場の人々に関わる包括的な防災教育の仕組みづくりを推進します。
- 消防団活動や地域防災活動が地域の暮らしに身近なものとなり、より多くの市民が活動に参加できるよう、広報等による啓発や活動支援の充実を図ります。
- 大規模災害時の孤立集落発生に備え、県や救助・救援機関と連携体制を構築し、防災行動計画の作成促進や物資の備蓄を促す等、市民への啓発活動を行います。
- 由布市地域防災計画や由布市業務継続計画(BCP)を適切に見直し、災害発生時に行政としての役割を最大限に発揮できるよう努めます。

### …… | 防犯

- 防犯組織の育成・強化や関係機関との連携により、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
- 特殊詐欺等の犯罪に関する広報活動を通じて、防犯意識の向上と犯罪防止を推進します。

### …… | 交通安全

- 家庭・地域・学校・職域に根差した交通安全運動の推進および充実を図ります。
- 交通危険箇所を把握し、安全な道路環境の整備を推進します。

### …… | 公共交通・移動支援

- 地域公共交通網の再構築に加え、福祉・商工等の分野横断的な施策を推進し、買い物や通院等市民の多様なニーズに合わせた効率的な移動手段の確保に努めます。
- 持続可能な公共交通を維持していくため、GIS(地理情報システム)等の活用や由布市地域公共交通計画等に基づき、時機に応じた施策を展開および推進します。

### …… | 消費生活

- 商品やサービスの契約に関する悩み等、消費生活に関する助言や情報提供等を行います。
- キャッシュレス化の進展やデジタル技術の発展により利便性が向上する一方で、悪質化・巧妙化した手口による消費者トラブルの啓発や、多様化・複雑化した消費生活相談に対応します。

## 施策目標 2

## 誰もが参加しやすいまちづくりの仕組みの構築

### …… | 市民参画

- 市民と行政がまちの未来をともに考え、ともに実行できるような仕組みや体制を整え、実効性・透明性のあるまちづくりを行います。
- 市民と行政の双方向での情報発信によるコミュニケーションの促進や、施策の進捗状況の発信等を通じて、行政に対する市民の関心や信頼を深める取組を推進します。

### …… | 協働

- 市民・企業・団体等のさまざまな主体との協働により、新たな価値を創造し、将来へつなげることでできる取組や活動の充実・強化を図ります。

### …… | コミュニティ

- 多様な媒体やツールを活用した積極的な情報発信と世代間交流の場の創出等を通じて、子どもを含む若い世代へのアプローチを行い、地域活動の担い手となる人材の発掘・育成を支援します。これにより、人と人のつながりを深め、持続可能な地域コミュニティの形成を推進します。
- 地域が主体となった持続可能なまちづくりを目指し、地域コミュニティ組織の設立・運営支援を強化する等、地域の特性や実情に応じた共同体機能のモデルを構築します。

## 施策目標 3

## 持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成

### …… | 行財政

- 高い実行力を伴った予算編成・予算執行方針等の財政規律の下で、限りある予算を各事業に適切に配分するとともに、市税を中心とした自主財源の安定的な確保に努め、適正な財政基盤の確立に向けた取組を推進します。
- 老朽化したインフラの適正管理や公共施設等における集約・複合化、長寿命化対策等を推進する中でトータルコストの縮減に努め、財政負担の軽減・平準化に取り組みます。
- デジタル技術やAI(人工知能)技術の活用に関する研修、デジタル人材の活用による事務の効率化や人材育成を積極的に行い、多様なニーズや地域事情に対応した行政サービスを提供します。

### …… | 広域連携

- 周辺市町村等との広域連携体制を充実・強化し、効率的で効果的な事業を推進します。

### …… | 産官学連携

- まちづくり、教育、観光、環境、防災、デジタル化の推進等、多様な分野において、企業や専門家、大学等と連携を図りながら、より良い行政サービスの提供や課題の解決を目指します。
- 学生等が地域と協働して行うフィールドワーク等を促進し、地域全体のイメージや愛着を高め、地域での活躍、将来的な定住や就業につなげます。

# 誰もが健やかに暮らせる まちづくり

## 《 基本構想 》

健康長寿でありたいという思いは、多くの市民の願いです。健康を維持するためには一人ひとりの日頃からの心がけや取組が重要です。

由布市では、平成25年(2013年)に「健康立市宣言」を行い、一人ひとりが家庭・地域・学校・職域等において健康づくりの主体として貢献できるよう、健康づくりの主役は自分自身であることを自覚し、ともに学び、育み、支え合う社会の実現に取り組んでいます。

また、支援を必要とする人に対して、その人に適した形でサービスを提供できる体制を構築し、年齢・疾病・障がい等の有無にかかわらず、一人ひとりの尊厳を守り、自らの能力を発揮できる環境をつくることで、一人ひとりが活躍し、健康で自立した生活を送ることができる由布市を目指します。

## 《 現状と課題 》

少子高齢化のさらなる進行と人口減少という大きな人口構造の変化に伴い、市民のニーズは年々増加し、多様化しています。そのため、保険・医療・福祉・介護等の公的サービスに加え、暮らし(介護予防・自立した生活等)を支援する自助・共助を含めた幅広いサービスが求められています。

その一方で、医療・福祉人材の不足や、地域福祉を支える民生委員・児童委員、福祉団体等の高齢化が進み、サービスの維持や活動の継続性が懸念されています。人口構造の変化による税収等の減少が見込まれる中、地域医療・福祉体制の維持に向けた取組の推進や、年齢・疾病・障がい等の有無にかかわらず、誰もが住みやすい地域づくりが求められています。あわせて、市民への健康情報の発信や啓発を強化し、生涯を通じて健康で心豊かな生活を送るための支援が必要とされています。

### ■ 施策体系

#### 誰もが健やかに暮らせるまちづくり

##### [ 施策目標 ]

- 施策目標 1 誰もが輝ける地域共生社会の実現
- 施策目標 2 いきいきと健康づくりに取り組む地域社会の実現
- 施策目標 3 安心して受けられる医療・介護体制の実現



## 施策目標と10年後に目指す由布市の将来像

### 施策目標 1 誰もが輝ける地域共生社会の実現

誰もが健康で自立した生活を営むためには、地域社会とのつながりを築いていくことが大切です。



地域の中の信頼関係や交流を深め、支援する側とされる側に分かれるのではなく、支援を必要とする人も含め、地域住民一人ひとりが役割を持ち、お互いに支え合い、助け合うことが重要になっています。

複合化・複雑化した支援ニーズに対する包括的な支援体制・多機関との連携を通じ、支え合いが広がり、すべての人が安心して暮らせるよう、地域福祉の意識の醸成や人材育成に努め、人にやさしいまちの実現を目指します。



### 施策目標 2 いきいきと健康づくりに取り組む地域社会の実現

世代や生活スタイル等、個人を取り巻く環境はさまざまであることから、それぞれの生活環境や健康状態に応じた多様な健康づくりの活動が、家庭・地域・学校・職域等身近な場所で展開されることが重要です。



地域住民や関係機関と連携しながら、幼少期から高齢期ま

で一貫した健康意識の向上に市全体で取り組み、健康寿命延伸に向けた情報発信や健康づくりを進めることで、生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせるまちの実現を目指します。



### 施策目標 3 安心して受けられる医療・介護体制の実現

適切な医療や介護サービスを受けられることは、市民が安心して生活を送る上で不可欠です。休日受診、救急医療および在宅医療連携等の地域医療体制の充実を図り、一人ひとりが自分に合った医療や介護サービスを受けながら、望む場所で安心して暮らし続けられるまちを目指します。



市民自身が心身の健康保持・増進に積極的に取り組むよう促し、疾病の予防や早期発見・早期治療を推進することで、重篤化の防止を図ります。健康や保険制度に関する相談体制の充実と知識の普及を図り、医療・保険制度の適切な維持・運営に努めます。



#### 下位の個別計画等

由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画、由布市成年後見制度利用促進基本計画、由布市再犯防止推進計画、由布市障がい福祉計画、由布市障がい者基本計画、由布市障がい児福祉計画、由布いきいきプラン(健康増進計画、母子保健計画、食育推進計画、自殺対策行動計画)、由布市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画、由布市特定健康診査等実施計画、由布市国民健康保険保健事業実施計画、由布市過疎地域持続的発展計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画、由布市地域防災計画

## ■ 由布市の将来像を実現するために取り組むこと

### 《 基本計画 》

#### 施策目標 1

#### 誰もが輝ける地域共生社会の実現

##### …… | 地域福祉

- 高齢者や生活困窮者、疾病・障がい等を持つ方が住み慣れた地域で自立して暮らすために、身の回りの困り事へのお手伝いを行う「由布市暮らしのサポートセンター」等の支援や情報発信を推進します。
- 地域福祉を支える社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉団体等を支援することで、社会福祉の推進を図ります。
- 年齢・疾病・障がい等の有無にかかわらず、個々の能力を発揮できる活動の場づくりを推進します。
- 災害時に自力での避難が難しい避難行動要支援者に対して個別避難計画を作成し、地域での啓発や支援を行います。

#### 施策目標 2

#### いきいきと健康づくりに取り組む地域社会の実現

##### …… | 健康施策

- 市民一人ひとりが自分のライフステージの健康課題を正しく理解し、それに備えることができるよう、それぞれの世代に合ったアプローチ方法で知識の啓発や情報発信に努めます。特に現役世代や若年層に向けた新たな取組としてICT(情報通信技術)の活用等を推進します。
- 運動習慣の定着等、健康づくりの取組が家庭・地域・学校・職域等市民にとって身近な場所で行われるよう促進し、健康に関する情報発信を通じて、あらゆる世代の健康づくりへの意識向上につなげます。
- 温泉や農産物、自然環境、景観等の地域資源を活用し、地域住民や来訪者の健康増進を図ることができる健康保養地(クアオルト<sup>2</sup>)の取組を推進します。

#### 施策目標 3

#### 安心して受けられる医療・介護体制の実現

##### …… | 地域医療・介護

- 各保険制度の適切な維持・運営を図るため、定期的な健康診断ときめ細かな保健指導を実施することにより、病気の早期発見・早期治療、重症化予防や健康的な生活習慣の定着を促し、医療費の適正化を図ります。
- 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、健康寿命の延伸に向け、運動習慣の定着や栄養改善、社会参加の促進等に取り組み、介護予防を推進します。
- より効率的で質の高い医療・介護サービスを提供するため、デジタル技術を積極的に活用した体制整備を推進するとともに、緊急時に速やかに対応できる救急医療体制や相談体制の充実を図り、安心して暮らせる環境を整えます。



用語解説

<sup>2</sup> クアオルト：ドイツ語で「療養地や健康保養地」を指す言葉。日本では由布市を含む複数の自治体で「日本クアオルト協議会」を立ち上げ、地域資源や温泉等を活用した滞在型の健康保養地づくりを推進しています。

## 豊かな環境の中で 快適な暮らしができるまちづくり

### 《 基本構想 》

由布市は、大分川の清らかな水で結ばれ、深く美しい緑に包まれています。この豊かな自然環境は、市民にとって大切な財産です。大分川水系の河川は、生活用水をはじめ、農林水産業や発電等多様な用途に利用されており、人々の暮らしを支えています。安全性の高い水資源を確保するためには、自然環境の保全と河川水質の維持が極めて重要です。あわせて、環境負荷の軽減や環境学習の推進を通じて、市民の環境意識の向上に取り組みます。

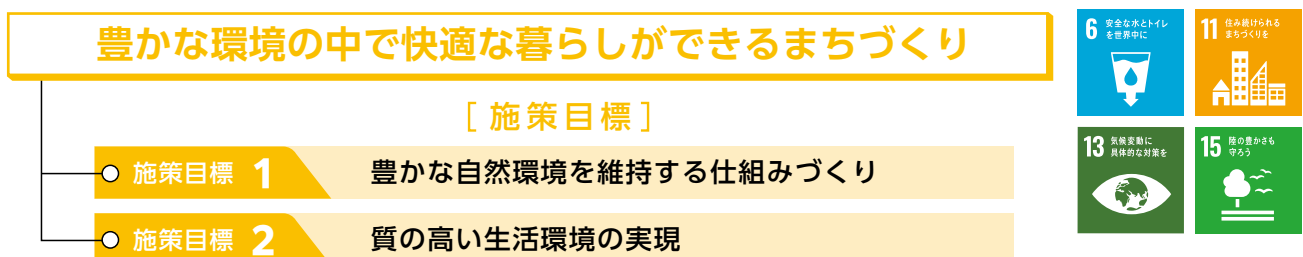
また、人口減少や少子高齢化といった社会課題に対応するため、由布市立地適正化計画における「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、医療・福祉施設や商業施設等の生活に必要な施設や居住エリアの誘導を行います。さらに、インフラの高度化やICT(情報通信技術)の活用、災害等非常時に対応できる公共空間の確保や生活基盤の整備により、誰もが安心して快適に暮らせる環境を整えるとともに、各種データの活用によって地域課題を正確に把握し、計画的な施策を展開していきます。

### 《 現状と課題 》

由布市では、自然環境と生活環境の両面において持続可能性が問われています。今後、気候変動に伴う災害リスクの上昇やインフラの老朽化といった複合的な課題が顕在化し、生活の安全性や快適性に影響を及ぼす可能性があります。さらに、空き家の増加、子どもが安心して遊べる公園の整備、景観保全と開発のバランス、観光地におけるポイ捨て等のごみ問題、河川水質の維持・改善、豪雨等災害対策、脱炭素社会実現に向けた取組等、多岐にわたる課題への対応が求められています。

また、人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の活力を維持するためには、医療・福祉・商業等の生活機能を確認し、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めることが重要です。地域の資源や特性を活かしながら、将来を見据えた計画的なまちづくりを推進するとともに、市民一人ひとりの環境意識の向上や、互いに支え合う地域社会の形成が、これからのまちづくりの鍵となります。

#### ■ 施策体系



## ■ 施策目標と10年後に目指す由布市の将来像

### 施策目標 1

## 豊かな自然環境を維持する仕組みづくり

水源、市民生活、河川環境等を含める流域全体の水循環システムを一体的に捉えながら、水資源や水質汚染、生物多様性に関する実態を客観的な調査研究に基づき把握します。「豊かな水資源の確保」や「環境負荷の少ない生活の促進」、「自然環境・資源の保護と保全」に向けた施策を実施することで、自然と人が共生する持



続可能な暮らしができるまちを目指します。

環境に関する市民意識の向上を図るため、子どもだけでなく大人も対象とした環境学習を推進します。市民一人ひとりの意識を高め、それぞれが今できることから行動することで、由布市の美しい自然環境を守り、その価値を高めながら、次の世代へと受け継いでいきます。

### 施策目標 2

## 質の高い生活環境の実現

既存インフラを最大限に活用するとともに、ICT（情報通信技術）の活用と情報化の推進により、利便性と効率性を兼ね備えたスマートなまちの実現を目指します。行政手続きのオンライン化を進め、行政運営の効率化と市民サービスの向上を図ります。さらに、データを活用して地域の課題を正確に把握し、計画的かつ効果的に解決していきます。



由布市立地適正化計画に基づき、生活に必要な都市機能と人口の適切な集積を図り、それらを公



共交通で結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、良好な住環境の整備や道路・公園等の生活基盤の充実を進め、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。また、由布市が持つ豊かな自然や美しい景観を守り、観光地周辺等におけるポイ捨て等のごみ問題、豪雨等各種災害への対策により、快適で魅力ある生活環境の保全に取り組みます。

### 下位の個別計画等

由布市水道ビジョン、由布市水道事業基本計画、由布市地球温暖化対策実行計画、由布市環境基本計画、DX推進計画、由布市都市計画マスタープラン、由布市立地適正化計画、由布市営住宅長寿命化計画、由布市耐震改修促進計画、由布市道路網整備計画、由布市公園施設長寿命化計画、由布市公共施設等総合管理計画、由布市景観マスタープラン、湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定、由布院盆地景観計画、由布市一般廃棄物処理基本計画、由布市分別収集計画、由布市過疎地域持続的発展計画、辺地総合整備計画、山村振興計画

## ■ 由布市の将来像を実現するために取り組むこと

### 《 基本計画 》

#### 施策目標 1

#### 豊かな自然環境を維持する仕組みづくり

##### …… | 豊かな水資源の確保

- 大分川水系の水環境を豊かにするため、各地域で環境保全・再生活動・調査研究を行う流域会議や、県と連携した水環境に関する地域課題を解決するための事業や調査研究を推進します。
- 由布市内の流域会議等が行う事業への支援や環境学習会により、水産資源の保護・増大を促進するとともに、市民に対し、大分川等の水資源を身近に感じられるようにすることで、豊かな水環境への理解を深める機会の創出につなげるよう努めます。
- 由布市水道水源保護条例による水源の保護を行うとともに、水道管理の効率的な経営や投資の平準化によるコスト削減に加え、交付金を活用しつつ、経営基盤の強化を図ります。施設更新の際には、水需要の見通しを踏まえ、適正な規模の水道施設に更新します。

##### …… | 環境負荷の少ない生活の促進

- 由布市内の河川の水質調査や河川汚濁の防止対策、河川水質に対する意識向上のための啓発等を行い、合併処理浄化槽の普及促進等を通じて、汚水処理人口普及率<sup>3</sup>の向上を図り、河川の水質再生・保全に努めます。
- 持続可能な循環型社会のために、地球温暖化防止や脱炭素、カーボンニュートラル<sup>4</sup>の推進に加え、地域の特性に適合し、かつ自然や地域等と共生する形での再生可能エネルギーの活用に向けた取組を推進します。

##### …… | 自然環境・資源の保護と保全

- 特定外来生物の防除対策、希少野生生物の保護・啓発、森林や温泉資源等の保護等により、自然環境および資源の保全を図ります。
- 由布市環境基本計画、由布市環境基本条例、由布市景観条例等により、自然環境や景観の保護および保全、良好な景観形成の推進を図ります。



用語解説

- 3 汚水処理人口普及率：総人口のうち、汚水処理施設（下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等）を利用できる人口の割合。  
 4 カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量と、森林等による吸収量を等しくすることで、温室効果ガスの排出量を「実質ゼロ」にすること。

…… | **デジタル化の推進**

- 住民基本台帳事務やマイナンバー制度による個人番号カードの交付等、行政手続きのオンライン化を推進します。デジタル相談窓口の設置やデジタル人材の育成、デジタルインフラの整備により、市民の利便性向上や行政手続きの簡素化、行政運営の効率化を図ります。
- 国勢調査、農林業センサス、経済センサス等の調査結果データ等を活用し、統計に基づいたまちづくりを推進します。

…… | **都市計画**

- 由布市都市計画マスタープラン等の計画の推進や、由布市立地適正化計画に基づき、医療・福祉施設、商業施設や居住エリアの移転の誘導等、コンパクトなまちづくりを推進します。

…… | **住宅**

- 空き家バンクを活用した空き家の利活用を促進するとともに、管理不全・危険家屋の対策を行います。
- 頻発する豪雨災害および今後の発生が予想される南海トラフ巨大地震等に備えた、災害に強い住環境づくりを推進します。

…… | **道路**

- 道路利用者や居住環境に配慮し、安全性と利便性の向上を図りながら、道路の適切な維持管理を行います。
- 安心して登下校できる通学路の整備、道路の補修、待避所の設置、緊急車両通行対策等、適切な維持管理を行います。

…… | **公園**

- 緑地の計画的な保全・整備や、公園の維持管理および遊具等の計画的な再整備を行います。
- 由布市が管理する都市公園施設における、清掃・修繕等の維持・管理事業を行います。
- 災害時に活動拠点となる公園を整備し、避難場所の確保や防災機能の強化を図ります。

…… | **景観**

- 景観計画等による景観形成の推進を図り、地域で守ってきた景観を維持・保全します。
- 屋外広告物の許可申請受付・処理および違反広告物等の調査・指導を行い、良好な景観形成、風致の維持、公衆安全の確保を図ります。

…… | **廃棄物・エコ**

- ごみの収集運搬業務、不法投棄対策や環境監視活動を行います。
- 大分市、由布市を含む6市で行う広域ごみ処理施設の建設に合わせ、生活ごみを集約・搬送する廃棄物運搬中継施設、市民が直接ごみを持ち込むことができるストックヤードを整備します。
- ごみの減量化に向けて、自治区および学校を対象とした学習会等、市民とともに取り組む仕組みを構築し、啓発活動を推進します。
- 観光地周辺等におけるポイ捨てを防止する事業を推進します。

## 人や文化を育むまちづくり

### 《 基本構想 》

これからの由布市を担うこどもたちが笑顔で健やかに成長し、保護者が安心してこどもを産み育てられるよう、誰もが心豊かに暮らせる地域社会の実現を目指します。そのために、子育て支援の充実を図るとともに、年齢や立場を問わず誰もが学び、つながり、自己実現できる環境整備を推進します。生涯にわたる学びやスポーツ、文化・芸術活動を通じた交流を促進し、世代や立場を超えたつながりを広げ、地域への愛着や誇りを育みます。また、こどもたちの未来を地域全体で支え合い、多様な価値観を認め合う教育を推進することにより、こどもたちの可能性を最大限に伸ばす環境を整備します。

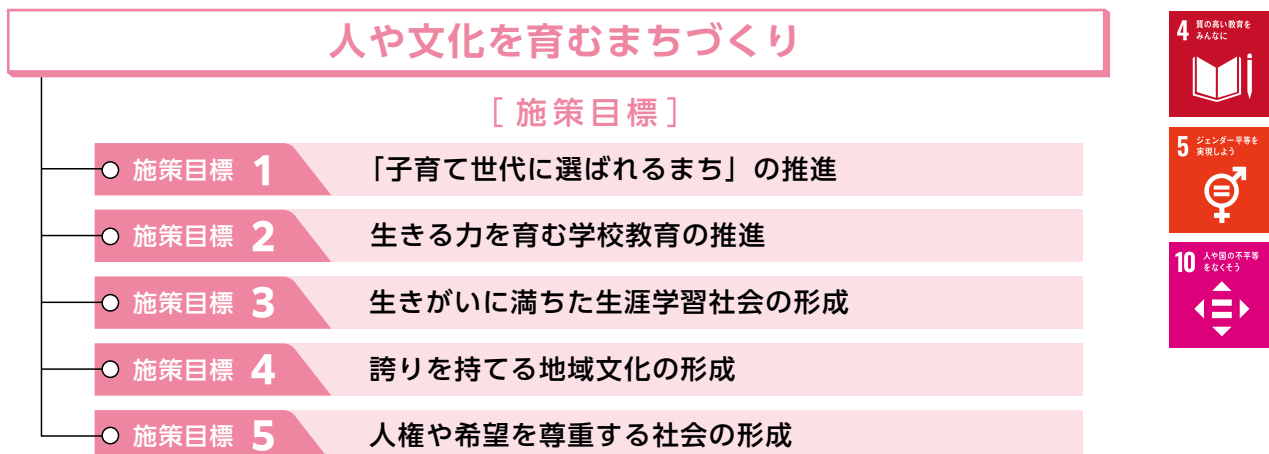
さらに、一人ひとりの個性や人権が尊重され、誰もが孤立することなく、心身ともに満たされ、互いに認め合いながら、自分らしく生きることができ共生社会の実現を目指します。

### 《 現状と課題 》

人口減少や少子高齢化が進む現代は、グローバル化や情報化、技術革新の進展等、社会の変化が激しく将来の予測が困難な時代です。このような社会的変化の中で、こどもたちが自らの力で幸せな人生を築いていくためには、生涯にわたって多様な世代とつながりを持ち、自ら考え、判断・行動し、新しい価値を創造するための「生きる力」を育むことが求められています。個人が幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会全体も豊かさや幸福を実感できるウェルビーイング（心も体も健やかで幸せな状態）の実現が必要とされています。

また、家庭環境が多様化する中で、次世代を担うこどもたちを安心して産み育てられる環境の整備も重要です。急速に進行する少子高齢化に加え、こどもへの虐待やいじめ、ヤングケアラー、貧困問題、さらには、子育て世帯の負担増加等のさまざまな課題に対し、すべての家庭が安心して子育てができる体制づくりが求められています。そのため、保育・教育の充実や子育て世代が働きやすい仕組みづくり、地域ぐるみの子育ての強化等が重要となっています。

### ■ 施策体系



## 施策目標と10年後に目指す由布市の将来像

### 施策目標 1 「子育て世代に選ばれるまち」の推進

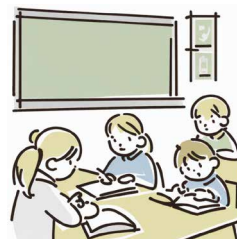
こどもが心身ともに健やかに成長するためには、学校・家庭・地域、そして行政がそれぞれの役割を果たし、連携することが不可欠です。妊娠・出産期から乳幼児期における福祉・保健・医療の課題、共働き家庭における保育のニーズ、核家族化に伴う育児不安、さらには児童の健全な育成を支える居場所づくり等、社会・家庭環境の多様化に対応した、切れ目のない一貫した家庭内外への支援体制の構築が求められています。



こうした取組を、家庭(こども)を中心に、学校・自治区・企業および団体を含めた社会全体で支え、由布市の子育て支援に関する情報を広く積極的に発信するとともに、由布市のすべてのこどもが笑顔で健やかに育つための環境整備に取り組みます。地域の中でのつながりや支え合いの中で、こどもを地域全体で見守り、寄り添いながら子育てができる、「子育て世代に選ばれるまち」を目指します。

### 施策目標 2 生きる力を育む学校教育の推進

学校・家庭・地域が手を取り合い、こどもたち一人ひとりの個性と可能性が育まれる環境をつくり、地域全体でこどもの成長を見守る意識を高めることで、生きる力を育む教育を推進していきます。特に、未就学期から発達段階に応じた教育環境を整備し、幼小中高の連携を強化することで、切れ目のない一貫した教育を実現します。なかでも「由布学<sup>5</sup>」を通じて由布市にあるさまざまな「ひと・もの・こと」に親しみ、それらを学びの資源として活用することにより、由布市に愛着と誇りを持ち、魅力を発信できる地域のリーダーとして、由布市の未来を担う人材を育成します。



また、1人1台端末の整備やAI(人工知能)を活用した個別最適化学習の支援等、デジタルを活用した教育環境の整備を積極的に進めるとともに、従来の対面による授業や課外活動等とうまく融合させ、教育効果の最大化を図ります。さらに、こどもたちが安全で快適な環境の中で学校生活を送れるよう学校の施設整備に取り組みます。



用語解説

5 由布学：幼稚園・小学校・中学校・由布高校の13年間を通じた、由布市の「ひと・もの・こと」を題材とした課題解決型の学習カリキュラム。由布学を通して、こどもたちの「思考力」「判断力」「表現力」「学びに向かう力」を育み、「ふるさと由布」を愛し、ふるさとと自己との関わりを考え続けられる「由布の人づくり」につなげることを目指しています。

### 施策目標 3 生きがいに満ちた生涯学習社会の形成

市民のニーズが多様化、高度化する中で、誰もが学びたいときに学ぶことができる基盤を強化します。市民の意欲や希望に応じた学びを主体的に進められる環境整備に努め、学びの成果を地域活性化や地域課題の解決に活かす機会の実現に取り組みます。



こどもの読書活動の推進をはじめとする学びの実践を通じて、人と人が支え合い、世代や立場を超えた交流を広げます。こうしたつながりの中で、地域への愛着や誇りを育み、誰もが生きがいや役割を持ちながら、心豊かに暮らせる「ウェルビーイング(心も体も健やかで幸せな状態)な地域社会」の実現を目指します。



また、スポーツには心身の健康や生きがい、仲間づくり等多くの魅力があります。市民が健康で充実した生活を送ることができるよう、年齢や障がいの有無等にかかわらず、誰もが気軽に楽しめるスポーツ環境の実現に努めます。

### 施策目標 4 誇りを持てる地域文化の形成

ふるさとの歴史や文化を学び、体験し、語り合うことのできる学習機会を通じ、市民一人ひとりが地域文化の価値を再発見し、誇りと愛着を育むまちづくりを推進します。さらに、郷土の伝統や文化を学び、引き継ぐ機会を創出するとともに、文化の担い手となる市民や団体の活動支援にも力を入れます。



また、多様な世代や立場の人々が交わる中で、ふるさとの文化を共有・継承する対話と経験の場を広げ、郷土への理解と愛着を土台に、異なる文化や価値観にも開かれた多文化共生の学びを進め、互いを尊重し合う地域の風土を育てていきます。こうした取組を通じて、人と人が響き合い、文化の魅力と創造力が循環する地域文化の形成を目指します。

### 施策目標 5 人権や希望を尊重する社会の形成

市民一人ひとりが人権に関するさまざまな問題について自ら考え、行動できるよう、教育や啓発を推進することで、互いの人権を尊重し合い、誰もが生きる喜びと未来への希望を持てる地域社会の実現を目指します。また、性別にかかわらず、誰もが互いに対等な立場で仕事や生き方を選択できる社会の実現に向けて、「〇〇



だから△△に違いない」というアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)の解消を推進します。



多様な価値観や考え方が尊重され、一人ひとりの個性や能力が十分に発揮される誰もが自分らしく生きることができるまちを目指します。

#### 下位の個別計画等

由布市子ども未来計画、由布市立公立幼稚園、小・中学校の適正規模及び配置の適正化基本方針、由布市教育方針、由布市教育振興基本計画、由布市生涯学習・社会教育振興計画、由布市子ども読書活動推進計画、由布市スポーツ推進計画、由布市文化財保存活用地域計画、由布市男女共同参画プラン、由布市人権教育・啓発基本計画、由布市過疎地域持続的発展計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画

## ■由布市の将来像を実現するために取り組むこと

### 《 基本計画 》

#### 施策目標 1

#### 「子育て世代に選ばれるまち」の推進

##### …… | 子育て支援

- 妊娠・出産期から乳幼児期、学童期や思春期の各段階を経て大人になるまでの心身の発達過程に応じた切れ目のない支援を行い、子育て世帯の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図ります。
- 放課後のこどもたちが安心・安全に過ごせる居場所を確保し、保護者の子育てと仕事の両立を支援する体制づくりに寄与します。
- 交流場所の提供や相談対応等を行う地域子育て支援拠点の設置や、地域における育児の相互援助活動を推進し、地域での子育てを支援します。
- 虐待やいじめ、貧困、ヤングケアラー、不登校等、多種多様な困難を抱えるこどもたちや保護者に対して、個々の状況に合わせたきめ細かな対応に努めます。
- 家庭(こども)を中心とした、支え合いができる子育て環境の実現を目指します。
- 由布市の子育て支援に関する情報を広く積極的に発信します。

#### 施策目標 2

#### 生きる力を育む学校教育の推進

##### …… | 学校教育

- 学校・家庭・地域が協働して、魅力ある学校づくりに取り組み、児童・生徒が由布学を学び続けることを通して、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進します。
- デジタル教育に必要な環境を整備し、デジタルを活用できる人材の育成に取り組みます。
- こどもたちが安全で快適な環境の中で学校生活を送れるよう、学校の施設整備に取り組みます。

#### 施策目標 3

#### 生きがいに満ちた生涯学習社会の形成

##### …… | 生涯学習

- 生涯学習や社会教育、こどもの読書活動推進に関する事業の情報発信を推進し、市民のニーズ把握に努めるとともに、事業への参加を促し、地域への愛着の醸成に努めます。
- 社会教育施設の適切な管理・運営を行い、各種講座や交流事業等の開催を推進します。
- 担い手となる人材の育成を積極的に進めるとともに、地域における持続的な学習の場の確保と充実に取り組みます。
- ICT(情報通信技術)を活用した学習機会を広げるとともに、情報を適切に見極め活用する力(情報リテラシー)の育成を図ります。年齢や地域格差によるデジタル格差にも配慮し、誰もが学びにアクセスできる環境を目指します。

##### …… | スポーツ振興

- 由布市内の社会体育施設の維持・管理を行うとともに、財政規模や人口規模に応じた適正な規模での施設運営を行います。
- 指導者の育成を進め、由布市内の既存のクラブ等にも協力を仰ぎながら、こどもから大人まであらゆる世代が安心してスポーツに取り組むことができる環境を整備します。

## 施策目標 4

## 誇りを持てる地域文化の形成

### …… | 地域文化・芸術

- 文化・芸術活動を行う各種団体等に対して、情報提供を通じて団体間の連携を促すとともに、文化・芸術に関するイベントの周知や、近隣自治体を含めた広域的なイベント開催の検討を行います。
- 文化財の保護・活用を推進し、市報ゆふ・チラシ・パンフレットやデジタル技術等を用いて広く歴史文化への関心を高めます。
- 文化財保存活用地域計画を策定し、地域文化財・文化資源の保存に努めます。

## 施策目標 5

## 人権や希望を尊重する社会の形成

### …… | 人権教育・啓発

- あらゆる世代の人権意識の向上のため、関係団体との連携を強化し、時代に即した人権教育・啓発の機会を創出します。
- 著名な講師の選定を行う等、魅力的な講演の開催を通じて、広く市民に参加してもらえ、きっかけをつくれます。
- 「〇〇だから△△に違いない」というアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の解消に向けて、市民への啓発活動を行います。

### …… | 男女共同参画

- 男女共同参画社会の実現を目指し、意識の向上を図るとともに、関係課・関係機関との連携体制を整備し、男女共同参画プランに沿った施策を円滑に推進します。

### …… | 困難を抱える人への支援

- さまざまな事情で困難な問題を抱える人が、地域で安定して自立した生活が営めるように関係課・関係機関との連携強化に努めます。特に、「困難を抱える女性への支援に関する法律」が令和6年（2024年）に施行されたことから、困難を抱える女性への支援に努めます。

# なり わい 生業をつなぎ、 地域が潤うまちづくり

## 《 基本構想 》

由布市には、さまざまな生業を持つ人々が暮らしており、互いに連携しながら地域経済の循環を生み出しています。これらの生業が今後も地域のにぎわいや雇用を支える存在として輝き続けられるよう、それぞれの魅力をさらに磨き上げ、地域内外へ積極的に発信していきます。特に、地域経済への波及効果が高い観光産業の特性を再認識し、さまざまな生業との連携を通じて、やりがいと誇りが持てる生業・産業を育み、由布市ならではの新たな価値の創出を目指します。

また、由布市は農村の暮らしが身近に感じられるまちでもあります。自然と調和した農村空間の中で暮らし、働ける由布市らしいライフスタイルを確立することで、地域に根差した仕事を次世代へと継承していきます。そして、就農や起業への支援を充実させ、あらゆる世代が自分らしい生き方を見つけられる環境づくりを進めていきます。

## 《 現状と課題 》

由布市では、豊かな自然環境を資源とする農林畜産業を基盤に、地域それぞれの特性を活かした商工業や観光業が展開されています。

農林畜産業においては、中山間地特有の地形に加え、近年の気候変動や病虫害発生の影響等により生産条件が不安定であるため、収益の確保が容易ではありません。加えて、従事者の高齢化や耕作放棄地の増加といった課題もあり、農地の維持・管理に支障をきたしている状況です。

商工・観光業においても、人手不足、物価変動、賃金水準の低さといった課題が顕在化しています。

こうした状況を踏まえ、国・県・他自治体と連携しながら、由布市およびその周辺経済圏において、幅広い世代が安定して多様な産業に従事できる環境を整備していくことが求められています。あわせて、就農・起業支援、産業振興等、総合的な対策が必要です。

### ■ 施策体系

#### 生業をつなぎ、地域が潤うまちづくり

##### [ 施策目標 ]

- 施策目標 1 地域に根差した持続可能な農林畜産業
- 施策目標 2 地域の新しい価値を生み出す商工・観光業
- 施策目標 3 生業をつなぎ地域の魅力向上



## 施策目標と10年後に目指す由布市の将来像

### 施策目標 1 地域に根差した持続可能な農林畜産業

第1次産業が持続可能で魅力ある産業となるよう、就農支援や担い手の育成、ワーク・ライフ・バランス<sup>6</sup>の向上、スマート農業<sup>7</sup>の導入、新たな人材や企業との連携等を積極的に進めることで生産性を高め、新たな価値を創造し、所得向上を目指します。



また、将来の農地利用の姿を示した地域計画を基本に、農地を次世代へどのように引き継いでいくかを地域で話し合い、交付金の活用等を通じて、農林地や里山にさまざまな形で人の手が入る仕組みを構築します。これにより、農業生産だけでなく、水源かん養<sup>8</sup>や脱炭素への貢献、防災といった多面的な機能の発揮を促し、豊かな自然環境の維持を図ります。

### 施策目標 2 地域の新しい価値を生み出す商工・観光業

由布市の商工・観光業は、多様な中小企業によって支えられており、地域の雇用とにぎわいを生み出す重要な要素と言えます。地場産業として各企業における経営力の向上、後継者育成や継業支援等を通じて、次世代に承継したい持続可能な商工・観光業の実現や、中小企業のさらなる発展を目指します。



また、地域の課題解決を担う主体としても、企業の果たす役割が期待されています。地域住民や団体との連携を推進し、地域課題の解決を通じて企業の存在感を高めることで、地域住民が安心して暮らすことができ、地域のにぎわいを生み出すことを目指します。

### 施策目標 3 生業をつなぎ地域の魅力向上

多様な生業や産業がある由布市の強みを活かし、異業種交流を盛んにし、新たなサービスや価値、製品を生み出す取組を推進します。



地域の魅力を向上させ、新たな仕事や雇用を生み出すとともに、新規就農や起業にチャレンジできる支援体制を整備し、由布市出身者のUターンや都市部からの移住希望者によるIターンの拡大に加え、出身地に近い地域への移住(Jターン)にもつなげることを目指します。

#### 下位の個別計画等

由布市農業振興地域整備計画、由布市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン、由布市酪農・肉用牛生産近代化計画、地域計画(地域農業経営基盤強化促進計画)、由布市農村振興基本計画、由布市森林整備計画、由布市鳥獣被害防止計画、湯布院温泉郷国民保養温泉地計画、由布市過疎地域持続的発展計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画

#### 用語解説

- 6 ワーク・ライフ・バランス：誰もがやりがいをもちながら、家庭や地域での生活等、個人のライフステージに応じた多様な生き方を選択・実現できる状態。  
7 スマート農業：ロボット技術やICT(情報通信技術)等の先進技術を活用し、農業の効率化や生産性向上を図る手法のこと。  
8 水源かん養：森林や農地が雨水を浸透・貯留させ、地下水を育むとともに、河川流量の安定、洪水緩和、水質保全等に寄与する機能。

## ■ 由布市の将来像を実現するために取り組むこと

### 《 基本計画 》

#### 施策目標 1

#### 地域に根差した持続可能な農林畜産業

##### …… | 次世代につなぐ担い手と産地の育成

- 農業従事者の減少や高齢化に伴う担い手不足に対して、地域の担い手の確保や耕作放棄地の抑制・減少に向けた調査・助言等の取組を推進します。
- 由布市のファーマーズスクールや国・県の交付金等を活用し、新規就農や企業参入の推進を図ります。
- 新規就農者の就農初期における経営安定への支援や農業従事者の就業環境向上に向けた支援を行います。
- 農地の有効活用や経営の効率化および生産性の向上を進めるため、地域計画を基本とし、担い手への農地の利用集積・集約化やスマート農業を推進します。

##### …… | 農村里山の維持

- 国や県と連携し、交付金を活用しながら、地球温暖化対策・災害に強い森林づくりや、林道等の維持管理に取り組めます。
- 鳥獣による農林作物被害の軽減を図るため、電気柵等の設置や、鳥獣害対策専門員等による集落全体の被害対策活動の支援等、予防・捕獲対策を行います。

##### …… | 市内産品の消費拡大とブランド力の向上

- 由布市産の農産物を使った学校給食による食農教育や、市内外向けのイベントの開催等を通じて、地産地消を推進します。
- 生産者の所得向上と由布ブランド確立のため、市内産品の消費拡大や特産品の開発を進めるとともに、商工・観光関係者と連携してイベントや商談会への出展等を行い、広くPRします。

#### 施策目標 2

#### 地域の新しい価値を生み出す商工・観光業

##### …… | 商工・観光業の育成・支援

- 起業支援や商店街活性化支援を行い、商業活性化および地域に密着する人材を確保します。
- 由布市内における消費拡大および地域経済の活性化を図ります。
- 次世代に承継したい持続可能な商工・観光業の実現に向けて、事業者と働き手がともに快適に働ける環境づくりや、人材の確保・育成を推進します。
- 円滑な承継を推進し、地域の雇用や経済基盤を守るとともに、承継を新たな価値創出の機会にするため、各関係機関と連携し事業承継・引継ぎ支援に取り組めます。

#### 施策目標 3

#### 生業をつなぎ地域の魅力向上

##### …… | 異業種交流の促進

- 異業種交流を促進し、活動を行っている異業種交流グループへの支援策を推進します。

## 由布の魅力発信 ファンとつながるまちづくり

### 《 基本構想 》

由布市が魅力にあふれ、活気のあるまちであり続けるためには、市民一人ひとりが由布市に愛着と誇りを持ち、「由布のファン」としてまちに関わっていく姿勢が重要です。同時に、その魅力が移住希望者や来訪者にも伝わり、新たな「由布のファン」になってもらうことが求められます。由布市が有する豊かな自然環境や温泉、伝統文化等の魅力を、「由布のファン」が自ら発信することで、由布市への理解と共感が深まり、移住・定住の促進にもつながることが期待されます。

これまで取り組んできた、「人と暮らしが織りなす“懐かしき未来”の創造～“住んでよし、訪れてよし”、原点回帰のまちづくり～」を目標像として掲げ、「滞在型・循環型保養温泉地」として多様な観光政策の基に実施してきたプロモーション事業や、移住促進施策を充実させます。新たな観光資源の磨き上げを進め、さらなる戦略的プロモーションを推進します。また、市民のふるさと意識の醸成や移住者・来訪者と由布市の関わり合いを育み、「由布のファン」を増やすことで、地域住民にとっても暮らしやすく、観光客にとっても長く滞在したい、何度も訪れたいと思えるような、魅力ある持続可能な観光まちづくりを進めていきます。

### 《 現状と課題 》

由布市では、これまでさまざまなプロモーション事業や移住施策を展開してきました。しかし、日常的に暮らし、働いている人々にとって、地域の魅力は意外と気づきにくいものです。そのため、由布市に関心を持つ移住希望者や来訪者に必要な情報や地域の魅力が十分に発信されていない現状があります。

今後は、企業や教育機関等外部の知見を活用し、マーケティング手法を取り入れる等、「由布のファン」を一人でも多く増やしていくことが重要です。求められている情報をスムーズに提供できるよう、時代に即したプロモーションや情報発信を積極的に進めていく必要があります。

#### ■ 施策体系

#### 由布の魅力発信 ファンとつながるまちづくり

##### [ 施策目標 ]

- 施策目標 1 戦略的なプロモーションと情報発信の促進
- 施策目標 2 交流と移住を促進する魅力と仕組みの構築



## 施策目標と10年後に目指す由布市の将来像

### 施策目標 1

#### 戦略的なプロモーションと情報発信の促進

由布市が魅力にあふれ、活気のあるまちであるためには、市民が由布市に愛着と誇りを持つ「由布のファン」になること、そして移住者や来訪者にもその魅力が伝わり、ファンになってもらうことが大切です。行政等からの一次発信に加え、ファン自身が由布市の魅力を身近な人に伝えたり、SNS等を通じて発信することで、情報がより多方面へ広がる相乗効果を生み出していきます。



市民や移住希望者、来訪者、観光客等すべての方々に向けてこれまで行ってきたプロモーション事業や情報発信の手法を振り返り、最新の知見も活かしつつ、企業や関係団体等と連携した戦略的かつ効果的な情報発信に取り組んでいきます。これにより、着実に「由布のファン」を増やしていくことを目指します。

### 施策目標 2

#### 交流と移住を促進する魅力と仕組みの構築

戦略的なプロモーションと情報発信により「由布のファン」を増やすとともに、滞在型・循環型保養温泉地である「湯布院温泉郷」の特色を活かしながら、人と人、そして地域とのつながりをより一層深める交流を推進し、関係人口<sup>9</sup>(由布の熱心なファン)を拡大していくことが大切です。



コミュニティ活動や伝統文化等、由布市が大切にしてきた地域とのつながりが根付く「暮らし」と、「仕事」の空間に近い由布市ならではのライフスタイルの価値を高め、由布市の魅力を効果的に発信します。また、地域のイベントの紹介や、短期的な滞在を通じて由布市での暮らしを体験できる「お試し移住」、農業就業を希望する層へ研修の場を提供する等、移住後の生活を見据えた支援を展開することで、由布市との関わりを深める人々を増やし、将来的には由布市に移住・定住したいと思うファンの創出を目指します。あわせて、移住定住施策、空き家情報、就業情報等を提供することで、ミスマッチのない移住を促進していきます。



また、地域住民の暮らしやすさを維持するために、観光客のマナーアップ啓発を行うとともに、湯布院地域においては交通渋滞緩和対策に努めます。

#### 下位の個別計画等

湯布院温泉郷国民保養温泉地計画、由布市過疎地域持続的発展計画、辺地総合整備計画、山村振興計画



用語解説

9 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様な形で関わる人々のこと。

## ■由布市の将来像を実現するために取り組むこと

### 《 基本計画 》

#### 施策目標 1

#### 戦略的なプロモーションと情報発信の促進

##### …… | 観光プロモーションの推進

- 庁内横断的に情報発信のあり方を検討し、由布市まちづくり観光局やユフイズム等、各分野の関係団体と密に連携をとりながら、効果的な情報発信を継続的・全市的に行い、「由布のファン」の創出を図ります。
- 由布市内の各地域に根ざした文化・歴史・自然といった多様な地域資源を見つめ直し、それぞれの特性を活かした体験型観光の再構築を通じて、由布市全体の魅力ある観光地づくりを推進するとともに、各地域の特徴に応じた手法を用いて効果的なプロモーションを行います。

##### …… | ふるさと納税

- 由布市の魅力発信の強化とあわせて、ふるさと納税に関する情報発信を積極的に行い、由布市を応援する個人や企業の増加を目指します。

#### 施策目標 2

#### 交流と移住を促進する魅力と仕組みの構築

##### …… | 交流促進

- 由布市の地域資源を最大限活用するとともに、関係団体等と連携して情報発信を行うことで、由布市観光の知名度向上や誘客の促進、交流・関係人口増加を図ります。
- 滞在型・循環型保養温泉地である「湯布院温泉郷」を核として、人と人、地域とのつながりをより一層深める交流を推進し、関係人口(由布の熱心なファン)の拡大を図ります。
- 市民がさまざまな交流事業ができる環境づくりを推進し、市民レベルの地域間交流や国際交流を支援します。
- 多様な地元事業者が連携し、来訪者が由布市内を周遊しながら地域の魅力を体感することで、交流や消費が地域内で循環する観光の仕組みを目指します。

##### …… | 移住促進

- 移住者への給付金等の支援や相談窓口の設置、空き家バンク制度を活用した空き家改修補助や若者定住宅地の整備等による移住・定住・交流の促進を図り、住みやすいまちを目指します。
- 由布市に魅力を感じる層に対し、効果的な情報発信を行い、ミスマッチのない移住施策を推進します。
- 特に生産年齢人口の移住を促進し、県と連携して就業情報や空き家情報の提供等を十分に行います。

# SDGs (持続可能な開発目標)について

## SDGs (持続可能な開発目標)

持続可能でよりよい世界を目指すための、17のゴール・169のターゲットから構成される世界共通の目標です。



由布市公式アプリ

# ゆふポ・由布市公式LINE

を使ってみませんか？

\\ 暮らしに役立つ機能がたくさん! //

避難所の開設や混雑状況をリアルタイムでチェック

イベント情報や学校情報等の配信

公共施設・健診のオンライン予約

道路の危険箇所を市役所へ通知

由布市公式アプリ

## ゆふポ

\\ ダウンロードはコチラから! //

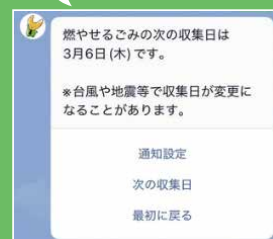


# 由布市公式LINE

友だち追加はコチラから!

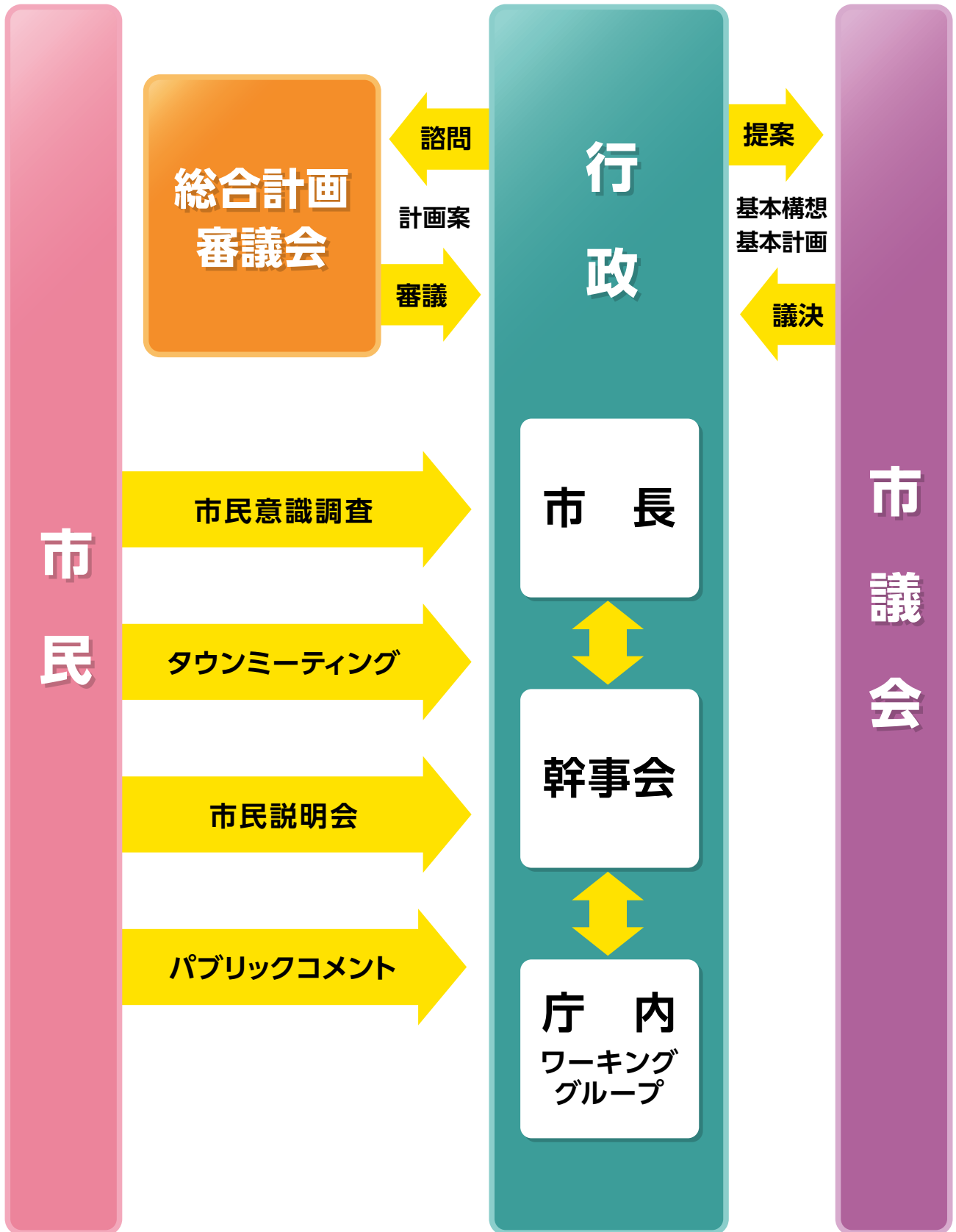


お住まいの地区を登録すると、ごみ収集日を自動で通知します!



## 策定プロセス

### 第三次由布市総合計画策定 体制図



## 由布市総合計画審議会(第三次由布市総合計画策定時)

[◎会長 ○副会長]

役 職 名	令和7年度(2025年度)	令和6年度(2024年度)
	氏 名	氏 名
大分大学経済学部教授 ◎	宮 町 良 広	宮 町 良 広
由布市自治委員会連合会会長 ○	田 北 太	後 藤 義 信
由布市女性団体連絡協議会会長	—	田 中 真 理 子
由布市女性団体連絡協議会副会長	田 中 真 理 子	—
大分公共職業安定所所長	安 部 宏 志	吉 野 栄 次
由布市社会福祉協議会事務局長	佐 藤 誠 一 郎	佐 藤 誠 一 郎
由布市農業委員	衛 藤 将 明	—
由布市農地利用最適化推進委員	—	柚 野 武 裕
由布市商工会事務局長	河 野 克 幸	河 野 克 幸
由布市PTA連合会会長	—	津 田 貴 之
西庄内小学校保護者会代表	山 内 彩 乃	—
子育て世代委員 (第二次総合計画始動時由布市子ども・子育て会議委員)	佐 藤 浩 樹	佐 藤 浩 樹
大分合同新聞社編集部次長	三 浦 寿 生	三 浦 寿 生
大分銀行挾間・小野屋支店長	田 中 成 人	田 中 成 人
(公財)人材育成ゆふいん財団理事長	清 水 嘉 彦	清 水 嘉 彦
由布院温泉観光協会会長	太 田 慎 太 郎	太 田 慎 太 郎
株式会社デンケン専務取締役 (総合戦略策定時みらい戦略会議委員)	佐 藤 英 夫	佐 藤 英 夫
大分県中部保健所所長	藤 内 修 二 (~R7.7) 森 本 卓 哉 (R7.8~)	藤 内 修 二

## 第三次由布市総合計画等策定幹事会

令和7年度(2025年度)			
課および職名	氏名	課および職名	氏名
市長	相馬 尊重	副市長	小石 英毅
教育長	橋本 洋一	総務課長	古長 誠之
財政課長	大久保 暁	教育次長	安部 正徳
福祉事務所長	後藤 昌代	挾間振興局長	井原 和裕
庄内振興局長	佐藤 重喜	湯布院振興局長	一野 英実
建設課長	衛藤 武	商工観光課長	大塚 守
議会事務局長	工藤 由美	会計管理者	平野 浩一郎
消防長	大嶋 陽一	総合政策課長	米津 康広
総合政策課課長補佐	在津 典良	総合政策課副主幹	佐藤 洋造

令和6年度(2024年度)			
課および職名	氏名	課および職名	氏名
市長	相馬 尊重	副市長	小石 英毅
教育長	橋本 洋一	総務課長	古長 誠之
財政課長	大久保 暁	教育次長	安部 正徳
福祉事務所長	後藤 昌代	挾間振興局長	井原 和裕
庄内振興局長	佐藤 重喜	湯布院振興局長	米津 康広
建設課長	衛藤 武	商工観光課長	大塚 守
議会事務局長	工藤 由美	会計管理者	二宮 啓幸
消防長	大嶋 陽一	総合政策課長	一法師 良市
総合政策課副主幹	三重野 鎌太郎	総合政策課副主幹	佐藤 洋造

## 第三次由布市総合計画等策定庁内ワーキンググループ

課 名	令和7年度(2025年度)	令和6年度(2024年度)
	氏 名	氏 名
総務課	伊 東 美 幸	伊 東 美 幸
防災危機管理課	厚 地 正 樹	厚 地 正 樹
総合政策課	二 宮 廉	二 宮 廉
財政課	中 野 浩 志	中 野 浩 志
財源改革推進課	柳 井 いづみ	柳 井 いづみ
税務課	汐 月 達 也	汐 月 達 也
市民課	姫 野 さおり	姫 野 さおり
人権・部落差別解消推進課	長 尾 郁	利 光 貴 之
農政課	藤 原 和 久	雨 宮 輝 明
農林整備課	河 野 竜 一	橋 本 陽 平
建設課	柏 木 啓 郎	柏 木 啓 郎
都市景観推進課	川 野 貴 載	川 野 貴 載
環境課	梅 野 朋 美	梅 野 朋 美
商工観光課	高 瀬 要	高 瀬 要
福祉課	佐 藤 恵 介	小 笠 原 真 由 美
高齢者支援課	平 野 佳 子	太 田 和 章
子育て支援課	上 村 健 治	藤 原 和 久
健康増進課	矢 吹 早 苗	矢 吹 早 苗
保険課	河 口 仁 美	河 口 仁 美
会計課	藤 澤 めぐみ	藤 澤 めぐみ
水道課	長 田 康 宏	長 尾 郁
議会事務局	中 島 進	中 島 進
監査・選挙管理委員会事務局	神 田 稔	阿 部 八 重
農業委員会	興 梶 太 希	興 梶 太 希
教育総務課	奥 田 令 里	奥 田 令 里
学校教育課	森 山 承 孝	森 山 承 孝
社会教育課	鶴 岡 竜 也	八 川 薫
スポーツ振興課	飯 倉 猛	飯 倉 猛
挾間地域振興課	梅 木 庸 平	志 手 翔 祐
庄内地域振興課	杉 田 信	神 田 稔
湯布院地域振興課	河 野 友 晶	志 手 裕 樹
挾間地域整備課	河 村 拓 海	長 田 康 宏
湯布院地域整備課	秋 吉 政 宏	秋 吉 政 宏
消防本部	宮 本 智 史	宮 本 智 史

## 第三次由布市総合計画策定事務局(総合政策課)

令和7年度(2025年度)		令和6年度(2024年度)	
職名	氏名	職名	氏名
課長	米津 康 広	課長	一法師 良 市
課長補佐	在津 典 良	課長補佐	江戸 陽
行政専門員	庄 忠 義	行政専門員	佐藤 正 秋
主幹	片桐 直 英	副主幹	三重野 鎌太郎
副主幹	佐藤 洋 造	副主幹	佐藤 洋 造
副主幹	北崎 英 梨	副主幹	鶴岡 良 子
主査	二宮 廉	主査	二宮 廉
主査	鴛海 巧 也	主任	鴛海 巧 也
主任	長谷川 聖	主事	長谷川 聖
主任	佐藤 亜 美		

# タウンミーティングの開催



令和6年(2024年)11月~12月に、タウンミーティングを挾間・庄内・湯布院の3地域で、各地域2回ずつ実施しました。

グループワークの内容	
第1回	① 由布市の好きなおところ/自慢できること/10年後も残したいこと ② 由布市の課題・改善点/特に改善したいこと
第2回	① 第1回目の整理 + 10年後はこんな由布市に! ② 10年後の由布市を実現するために「こんな取組があったらいいな」を考える

挾間地域



庄内地域



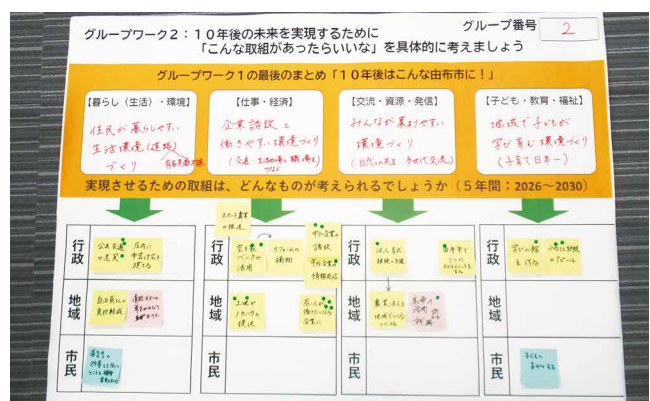
湯布院地域



由布市の好きなおところ



10年後はこんな由布市に!



由布市の好きなおところとしては、由布岳や大分川に代表される豊かな自然、農業、伝統文化、充実した福祉施設等が挙げられました。一方で課題としては、宅地や道路の整備、地域役員・地域活動・各種団体等の担い手不足、農地の維持、少子高齢化等が指摘されました。

これらの参加者の皆さまからのご意見を踏まえ、本計画を策定しております。





由布市

## 第三次由布市総合計画

基本構想・基本計画

令和8年(2026年)3月発行

---

発行者：由布市 総合政策課

電話番号：097-582-1111(代表)

ホームページ：<https://www.city.yufu.oita.jp/>

---